

平成22年度 「経営の目指すもの」 概要

～ エネルギーをコアに、お客さまの多様なニーズにお応えする中部電力グループ ～

資料 1

【目指すべき企業グループ像】

中部地域を基盤とする「総合エネルギーサービス企業グループ」として、エネルギーをコアに新しい価値をお客さまへお届けするとともに、事業活動のあらゆる領域において、地球環境の保全に努め、グループ全体で持続的な成長を達成してまいります。

【経営目標】

1 販売目標

- 電気の販売目標 家庭用分野：オール電化住宅の累計60万戸突破
業務用・産業用分野：厨房・空調などの電化推進による80万kWの需要の創出
- ガス事業、LNG販売事業およびオンサイトエネルギー事業の目標：三事業合計で、売上高450億円程度

2 経営成果活用の基本方針

＜キャッシュフロー配分方針＞

「電力の安定供給に不可欠な投資」および「株主への安定配当」に優先的に配分してまいります。

その上で、事業・設備など資産の中身を改善・強化する案件や将来の成長に向けた「戦略的投資」、さらには「財務体質の改善」などに対し、内容やバランスを十分に考慮して配分を進めていきます。

○戦略的投資

電気事業をさらに強固にするための投資とともに、さらなる事業の発展のため、海外エネルギー事業やガス・LNG・オンサイトエネルギーサービス事業への投資を拡大していきます。また引き続き、電気事業と親和性が高くサービスや収益の向上が見込まれる事業の開発・育成のための投資を進めていきます。

【経営の4つの柱と具体的取り組み】

1 お客さまにご満足いただける販売活動の展開

ご要望に応じたさまざまなエネルギーサービスを提供することにより、豊かな暮らしや産業の発展を支えるとともに、地球環境保全に貢献する企業を目指します。再生可能エネルギー利用技術である「エコキュート」を中心とするヒートポンプ機器の普及拡大により、社会やお客さまのニーズにお応えしていきます。

○ご家庭のお客さまへ新たなライフスタイルを提案

- ・販売目標の達成に向け、引き続きオール電化を推進（平成22年2月末で、累計52万戸を突破）
- ・新時代の電気の暮らしとして、太陽光発電や電気自動車などを用いた新たな生活スタイルを紹介（e-生活情報センター「デザインの間」、生活提案サイトおよび情報誌「Heart Bridge」）

○ビジネスのお客さまへソリューションサービスを提供

「電気」に加えて「ガス」や「オンサイトエネルギー」等を最適に組み合わせ、お客さまの多様なニーズに総合的に応えるソリューションサービスを、グループ会社と一体となって提供してまいります。

- ・コスト削減や環境負荷低減につながるE空調（電気空調システム）、E厨房（電化厨房システム）、E給湯（電気給湯システム）、E工場（生産プロセス電化システム）の提案
- ・販売目標の達成に向けた取り組みを推進（平成22年2月末時点で62万kWの需要創出を達成）
- ・自社導管を利用したガス販売、(株)エル・エヌ・ジー中部によるタンクローリー利用のLNG販売、(株)シーエナジーによるオンサイトエネルギーサービス提供を、エネルギー事業部による総合的なマネジメントのもとに実施し、お客さまからの多様なニーズにワンストップでお応えしていきます。

2 安価で高品質なエネルギーの安定的な生産、確実なお届け

安定供給や地球環境保全、効率性に配慮しながら、バランスのとれた電源設備の構築など、計画的・効率的な設備形成・運用に努めます。とりわけ、安定供給と地球環境保全の面で優れた原子力発電について、安全を最優先に着実に推進していきます。

○将来にわたりエネルギーを安心してお使いいただくための取り組み

- ・原子力への積極的な取り組み
浜岡原子力発電所リブレース計画
プルサーマル導入を通じた原子燃料サイクル確立への取り組み（浜岡4号機において平成22年度より実施予定）
- ・化石エネルギー利用における効率性・安定性・環境性の向上
高効率火力発電所の積極的な導入（上越火力の開発等）
燃料調達・運用力の強化（伊勢湾横断ガスパイプライン敷設、LNGタンク増設等）
- ・万全な流通設備の建設、次世代送配電網（スマートグリッド）への取り組み
- ・耐震裕度の向上に向けた設備対策

○設備運用・保全、調達における効率化

- ・設備運用・保全における効率化、資材・資金調達における効率化



上越火力発電所建設状況
（平成21年12月時点）

3 地球環境保全をはじめとした企業の社会的責任（CSR）の完遂

コンプライアンス経営の徹底に加え、地球環境の保全や地域の皆さまとの信頼関係の一層の向上などを推進してまいります。特に地球環境保全への取り組みとして、原子力や再生可能エネルギーなど非化石エネルギー比率の向上に加え、お客さまや社会の環境関連ニーズにお応えし、再生可能エネルギーや省エネルギー技術の普及に貢献してまいります。

○地球環境保全に貢献する事業活動の推進

- ・CO₂排出原単位の削減（2008～2012年度の5か年平均で1990年度比20%削減）
- ・再生可能エネルギーの推進
メガソーラー発電所の開発（メガソーラーたけとよ、メガソーラーいいだ）
バイオマス発電の実施（碧南火力での木質チップ混焼）
風力発電所の開発（御前崎風力発電所等）
- ・電気自動車の普及拡大への支援
2020年度末までに業務用として約1,500台導入
「あいちEV・PHV普及ネットワーク」参画など自治体と協働



「メガソーラーいいだ」イメージ図



御前崎風力発電所（第1期）

○中部電力グループのCSR

- ・CSR推進会議のもとCSRの課題抽出、改善活動を実施

4 企業価値の向上を目指した事業基盤の強化

戦略的な経営資源の活用、現場を担う「人財」の確保・育成、技術研究開発の推進などにより、事業基盤の強化に努め、企業価値の向上を図ることで、ステークホルダーの皆さまのご期待に応えてまいります。

○海外エネルギー事業の積極的な展開

- ・平成27年度までに投資規模1,000億円程度を目途に事業を展開

○グループ経営の推進

- ・グループ一体となった事業運営の推進（グループ会社再編・経営管理の充実）

○「人財」の確保・育成、組織風土づくり

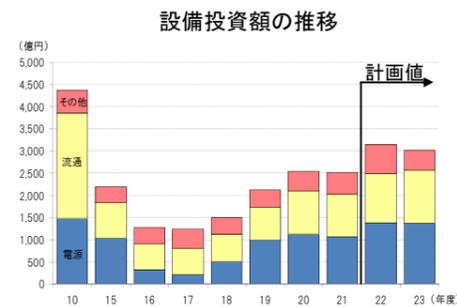
- ・現場力を支える「人財」の育成・活用、女性の活躍推進

○技術研究開発の推進

- ・「安定的かつ安価なエネルギー供給を実現する技術」、「効率的で利便性の高いエネルギー利用に関する技術」などのコア事業を支える新技術の研究開発
- ・低炭素社会実現に向けた「地球環境保全に役立つ技術」の研究開発



ゴアウェイ発電事業（カナダ）



(注1)平成21年度は推定実績値、平成22、23年度は計画値
(注2)グラフ中の設備投資額には、「電力の安定供給に不可欠な投資」と「戦略的投資の一部」を含む



新時代の電気の暮らし（イメージ図）